

公益社団法人日本地震工学会 第74回理事会議事録

A.日時：2025年3月14日（金） 16時00分～19時55分

B.場所：建築会館会議室306およびZOOMによるオンライン会議

C.出席者：（会長）高田毅士、（副会長）中村いずみ（欠席）、年縄 巧、大堀道広

（担当理事）高橋郁夫、本多 剛、前川 晃、渡邊和明、隈本邦彦、上田 遼、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、中嶋唯貴、丸山喜久、高瀬裕也、上田恭平、吉見雅行

（監事）永野正行、室野剛隆

オブザーバ出席：山中浩明次期会長、戸田薫子事務局長、竹元悦子事務局員

※下線はオンラインでの出席者

※渡邊理事の「邊」の字は一点しんにょうと読み替えてください

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1) 第73回理事会議事録（案）確認（本多理事） | 資料 74-01 |
| 2) 総務・会計部会、第27回正副会長会議報告（本多理事） | 資料 74-02 |
| 3) 会務報告（本多理事） | 資料 74-03 |
| 4) 会計報告（前川理事） | 資料 74-04 |
| 5) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 74-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田(遼)理事） | 資料 74-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事） | 資料 74-07 |
| 8) 国際委員会からの報告（阿部理事） | 資料 74-08 |
| 9) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事） | (資料なし) 資料 74-09 |
| 10) 論文集編集委員会からの報告（向井理事） | 資料 74-10 |
| 11) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事） | 資料 74-11 |
| 12) 2024年度大会に関する報告（中嶋理事） | 資料 74-12 |
| 13) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長） | 資料 74-13 |

議案

- | | |
|---|----------|
| 第1号 入退会者・会費未納入者（本多理事） | 資料 74-14 |
| 第2号 共催・後援・協賛等（本多理事） | 資料 74-15 |
| 第3号 令和7年度事業計画（案）（本多理事） | 資料 74-16 |
| 第4号 令和6年度再補正予算・収支見込と令和7年度収支予算（案）（前川理事、渡邊理事） | 資料 74-17 |

第5号 今年度の表彰について

- | | |
|-------------------|----------|
| (5-1) 現時点のまとめ | 資料 74-18 |
| (5-2) 功績賞（高橋理事） | 資料 74-19 |
| (5-3) 功労賞（高橋理事） | 資料 74-20 |
| (5-4) 名誉会員（高橋理事） | 資料 74-21 |
| (5-5) 論文賞（年縄副会長） | 資料 74-22 |
| (5-6) 論文奨励賞（向井理事） | 資料 74-23 |
| (5-7) 大崎順彦賞（高橋理事） | 資料 74-24 |

懇談事項

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| 1) 2025年社員総会について（高橋理事） | 資料 74-25 |
| 2) 令和6年度事業報告（案）について（高橋理事） | 資料 74-26 |
| 3) 新理事の候補者について（高橋理事） | 資料 74-27 |
| 4) 新公益法人制度（会計基準）とその対応について（渡邊理事・事務局） | |

5) 新公益法人制度（外部理事・外部監事）とその対応について（本多理事）	資料 74-28
6) 学会予算の健全化および会費の改定について（高橋理事）	資料 74-29
7) 会誌のオンライン化の検討について（本多理事）	資料 74-30
8) 論文投稿料の値上げについて（本多理事）	資料 74-31
9) 今後の予定について（高橋理事）	資料 74-32

報告事項

- 1) 第 73 回理事会議事録（案）の確認（本多理事）
 - ・本多理事より、資料 74-01 に基づいて、第 73 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 第 27 回正副会長会議報告（本多理事）
 - ・本多理事より、資料 74-02 に基づいて、第 27 回正副会長会議報告の説明がなされ、承認された。
- 3) 会務報告（本多理事）
 - ・本多理事より、資料 74-03 に基づいて、前回理事会以降の会務報告がなされた。
- 4) 会計報告（前川理事）
 - ・前川理事より、資料 74-04-1 に基づいて、令和 6 年度の部会別の予算執行状況及び収支の実績率の説明がなされ、各担当理事に対して間違いがないことの確認の依頼があった。
 - ・前川理事より、資料 74-04-2 に基づいて、令和 6 年度決算見込み額の説明がなされ、令和 6 年度予算見込み額については事業活動収入 26,402,672 円、事業活動支出 28,299,556 円、投資活動収入・支出は 6 学会地震災害積立金の取り崩したものの支出がなかったこと、当期収支差額は-1,896,884 円となることの報告がなされ、承認された。
 - ・前川理事より、資料 74-04-2 に基づいて、令和 7 年度予算案の説明がなされ、令和 6 年度予算案と比較して収支改善を見込んだ計画であることの報告がなされ、承認された。
 - ・吉見理事より、調査研究収入（910,000 円）に関して具体的な内容について質疑がなされ、戸田事務局長より、新規研究委員会（地形を考慮した地震動特性に関する研究委員会、津野委員長）のワークショップの開催と半年間延長となった研究委員会（津波荷重評価の体系化の心得を取り纏める研究委員会、有川委員長）の報告会の収入が計上されていることの説明がなされた。
 - ・吉見理事より、JEES 積立金の取り崩しに関して過去の事例に関して質疑がなされ、戸田事務局長より、取り崩しを行った／行っていない年度があること、16JEES では 12 万円の積立を行ったことの説明がなされた。これに対して高田会長から 12 万円の経緯に関する質疑がなされ、戸田事務局長より、16JEES の事業収支から翌年 5 月に支払う消費税（租税公課）相当額を差し引いた残りの 12 万円を 2023 年度に積立たことの補足説明がなされた。
 - ・前川理事より、資料 74-17 に基づいて、大崎順彦賞にかかわる寄付金と費用に関して、今年度の会議費は通常通り計上し、寄付金は未収金として計上するのではなく令和 7 年度に寄付金として計上することの説明がなされた。これに対して高田会長より、来年度の寄付金収入に関して質疑がなされ、高橋理事より、受賞者の人数によって 100 万円または 200 万円＋経費になるが、令和 7 年度の予算案は受賞者一人の 100 万円で計上していることの説明がなされ、補正予算案に関して承認された。
 - ・前川理事より、資料 74-17-03～04 に基づいて、内閣府に報告する正味財産増減計算について令和 6 年度の見込み額の内訳、令和 7 年度予算案について説明がなされた。
 - ・以上をもって、議案第 4 号「令和 6 年度再補正予算・収支見込と令和 7 年度収支予算（案）」の内容について説明がなされ、承認された。
- 5) 広報部会からの報告（隈本理事）
 - ・隈本理事より、資料 74-05 に基づいて、広報部会からの活動報告がなされた。日本地震工学会誌

No54（発刊 2 月）の記者クラブへの配布を行ったことの説明がなされた。

6) 情報コミュニケーション（IC）委員会からの報告（上田(遼)理事）

- ・上田(遼)理事より、資料 74-06 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について説明がなされ、将来構想委員会の提言に沿ってアウトリーチ活動の強化と、アウトリーチ活動による収入増、DX による事務局経費の削減を行っていることの説明がなされた。
- ・上田(遼)理事より、NewsLetter（4 月号）の内容の説明がなされ、新しい連載として鯨はかせの「地震に克つ玉手箱」と題して福和先生にお願いすることや、若手座談会の実施について報告がなされた。
- ・上田(遼)理事より、新年度の委員として桑原氏、森氏、黒沢氏に委嘱することの説明がなされ、承認された。

7) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）

- ・皆川理事より、資料 74-07 に基づいて、会誌編集委員会の活動状況と日本地震工学会誌第 54 号（2025 年 2 月発行）と第 55 号の企画案について報告がなされた。
- ・皆川理事より、会誌のオンライン化に関して出版にかかわる作業フローと経費について説明がなされ、オンデマンド印刷による費用に関して年間契約、個別印刷といった複数の形態などについて複数の検討事項があることの説明がなされた。
- ・皆川理事より、広告費用の改定の説明がなされ、承認された。

8) 国際委員会からの報告（阿部理事）

- ・阿部理事より、資料 74-08 に基づいて、国際委員会（ニュースレター、韓国との MOU、英文ダイジェスト）の活動について報告がなされた。
- ・高田会長より、韓国地震工学会会長に会誌への寄稿のお願いすることの要望がなされ、阿部理事より現地でお願いすることの回答がなされた。

9) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事）

- ・吉見理事より、口頭で、地震災害対応委員会では報告・審議事項がないことの報告がなされた。

10) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）

- ・向井理事より、資料 74-10 に基づいて、日本地震工学論文集の編集状況および今後の予定の報告がなされた。
- ・向井理事より、①英文論文集の通常号へ統合（承認済み）と、②特集号の英文翻訳論文が増えていることから有料化の検討を行っていることの説明がなされ、投稿規程の改定を次回理事会の議案とすることの報告がなされた。これに対して大堀副会長より、過去に英文発信を強化することを目的として無料化したことの経緯が説明された。
- ・向井理事より、英文翻訳論文において英文の質が低いものが出てきており、編集委員会・事務局の負担が増えていること、査読に関する異議申し立て、審査に関して問題が生じている事項があることの説明がなされ、論文集編集委員会での対応方針について報告がなされ、了承された。

11) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事）

- ・高瀬理事より、資料 74-11 に基づいて、事業企画委員会の活動と今後の予定について報告がなされ。
- ・高瀬理事より、神戸地震 30 年行事（2025 年 1 月 24 日）の内容のアーカイブ化について著作権の扱いが不明な図等があることの説明がなされた。これに対して高田会長より、著作権が明確でないものは表示できないようにできないかと質疑がなされ、高瀬理事より難しいことの説明がなされた。山中次期会長より、販売したアーカイブ資料は購入者限りとし、不特定の方が見られないようにすることの提案がなされた。

- ・DX 講習会に関して、参加費：日本地震工学会 正会員・法人会員：8,000 円、学生会員（研究室パックを含みます）：4,000 円、後援学会会員：10,000 円、非会員：12,000 円、学生非会員：5,000 円とすることで、承認された。

12) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事）

- ・中嶋理事より、資料 74-12 に基づいて、2024 年度大会の収支報告がなされた。
- ・丸山理事より、2025 年大会の参加費とアーリーバードの金額について説明がなされ、承認された。
- ・高橋理事より、今後の進め方や現地とやり取りについて質疑がなされ、これに対して丸山理事より、実行委員会を立ち上げて対応することの説明がなされた。

13) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長）

- ・大堀副会長より、資料 74-13 の内容は懇談事項「会誌のオンライン化の検討について」と内容が重なるので、懇談事項で扱うことの説明がなされた。

議案

第 1 号 入退会者・会費未納入者（本多理事）

- ・本多理事より、資料 74-14 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。
- ・本多理事より、3 月時点での会費未納者が多いことの説明がなされ、高田会長より知り合いがいれば会費納入のお願いすることの依頼がなされた。

第 2 号 共催・後援・協賛等（本多理事）

- ・本多理事より、資料 74-15 に示された共催 0 件、後援 2 件、協賛 1 件、報告 1 件（第 27 回正副会長会議で承認済み）について説明がなされ、承認された。

第 3 号 令和 7 年度事業計画（案）（本多理事）

- ・本多理事より、資料 74-16 に基づいて、令和 7 年度事業計画（総会資料）の説明がなされ、承認された。なお、修正・変更がある場合は 3/21（金）までに総務・事務局に連絡することの依頼がなされた。
- ・高田会長より、6. (1) において「地震発生時に会長名でお見舞いの発信を行う」ことの記載を追加することが指示された。

第 4 号 令和 6 年度再補正予算・収支見込と令和 7 年度収支予算（案）（前川理事、渡辺理事）

- ・前川理事より、会計部会の報告において既に説明がなされ、承認されたことの確認がなされた。

第 5 号 今年度の表彰について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 74-18～21、24 に基づいて、今年度表彰の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。
- ・山中次期会長より、功績賞の工藤氏の推薦書の題目に関して、「ESG（表層地質が地震動に及ぼす影響）」の表現は異なる意味で解釈される可能性があるので、日本語表記が望ましいとの意見が出された。
- ・年縄副会長より、資料 74-22 に基づいて、論文賞の選考経緯の説明がなされ、承認された。
- ・向井理事より、資料 74-23 に基づいて、論文奨励賞の選考経緯の説明がなされ、承認された。
- ・高橋理事より、資料 74-24 に基づいて、大崎順彦賞の選考状況について説明がなされた。また、大崎順彦賞の会計に関して会計部会での説明のように扱いを変更したことの説明がなされた。
- ・高橋理事より、大崎順彦賞は 3/28（金）に受賞者の候補が確定し、メール審議での承認を 3/31（月）まで行いたいことの要望がなされた。

懇談事項

1) 2025 年社員総会について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 74-25 に基づいて、2025 年 5 月 21 日（水曜日）に開催される 2025 年社員総

会のスケジュールの説明がなされた。第4号～第6号議案として選挙管理委員会委員の選任、役員候補者推薦委員会の選任、名誉会員の推挙が行われることの補足がなされた。戸田事務局長より、公益法人制度改革に伴い定款の改定が議案になることの説明がなされた。

- ・高橋理事より、総会での報告については会費の値上げが盛り込まれる予定との説明がなされた。

2) 令和6年度事業報告(案)について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料74-26に基づいて、内閣府に提出する事業報告案について説明がなされた。修正箇所として、2. (1) 4) に関して「その他にも、台北市における台湾集集地震25周年国際会議参加(9月12～14日、高田 会長)など、今年は積極的に海外との交流を図った」重複しているので削除すること、4. (4) 広報委員会の会誌 No.と年次大会の年度の修正、4. (17-1) 研究委員会が9月まで延期されたことの修正、が確認された。
- ・高橋理事より、修正・変更がある場合は3/21(金)までに総務・事務局に連絡することの依頼がなされた。

3) 新理事の候補者について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料74-27に基づいて、新理事の候補者について説明がなされ、17JEES 運営委員会の理事として後藤先生が既に決まっていることの報告がなされた。
- ・山中副会長より、副会長の一人に北海道大学の高井先生を、総務理事に鹿島建設・技術研究所から候補者を出していただくことの説明がなされた。また、もう一人の副会長について土木分野からの候補者を検討したいことの説明がなされ、理事会に協力が求められた。

4) 新公益法人制度(会計基準)とその対応について(渡邊理事・事務局)

- ・渡邊理事と戸田事務局長より、令和7年～令和10年の経過措置期間に会計基準の原則変更または代替措置の選択を行う必要があることの説明がなされた。また、当会の法人会員である防災ログが16JEESの業務委託先となっていたが、17JEESの委託先となる場合には法人会員を止めてもらう必要があることの説明がなされた。
- ・竹元事務局員より、新しい会計基準に対応できる会計システムが令和7年10月頃に販売される予定との説明がなされ、新会計基準の移行に伴って新たな費用発生が生じることの報告がなされた。

5) 新公益法人制度(外部理事・外部監事)とその対応について(本多理事)

- ・本多理事より、資料74-28に基づいて、公益法人制度改革による外部理事と外部監事の設置と、今後のスケジュールについて説明がなされた。
- ・本多理事より、外部理事については日本地震学会と相互に推薦する方法を検討していること、外部理事・外部監事の設置に関して定款の変更が必要であることと、2026年5月から外部理事・外部監事の設置を行うことの説明がなされ、了承された。
- ・本多理事より、外部監事について、2026年は監事二人＋外部監事一人、2027年以降は監事一人＋外部監事一人とすることの案が提示され、了承された。
- ・高橋理事より、当会の会員ではない外部理事・外部監事に対して当会のイベントに視察として参加できる権利(インセンティブ)を与えることの提案がなされ、これに対して高田会長より、費用が掛からない範囲で行うことの説明がなされ、了承された。

6) 学会予算の健全化および会費の改定について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料74-29に基づいて、学会予算の健全化および会費の改定についての説明がなされ、2025年予算案で積立金の取り崩しを行っていること、繰越金が潤沢ではないこと、収入と支出の改善を見込んでいるが実質赤字となること、更に会費の値上げと理事会・総会の完全オンライン化を進める必要があることの報告がなされた。

- ・高橋理事より、資料 74-29 に基づいて、他学会との会費比較を行い、収支バランスをとる上で正会員 12,000 円への値上げが望ましいとの説明がなされ、法人会員も 2 割 UP の説明がなされた。個人会員の値上げ額については、資料 74-29 の案で了承された。
 - ・渡邊理事より、法人会員に関して 50%アップとすることの提案がなされ、ホームページのバーナー表示の改善やイベントへの会員価格で参加できる人数の増加など、サービスの向上を合わせて行う方向で進めることが了承された。
 - ・山中次期会長より、退職された（無職になった）方に対して会費割引や終身会員の検討の要望がなされた。
 - ・高橋理事より、次回理事会（4 月）に会費の金額について審議していただき、会員サービスの充実が 4 月以降に検討する案が提案がなされ、了承された。
- 7) 会誌のオンライン化の検討について（本多理事）
- ・本多理事より、資料 7-30 に基づいて、会誌 No.54 費用とオンライン化に伴うオンデマンド印刷部数、個人単位でオンデマンド印刷した場合 1 冊 1500 円程度かかることの説明がなされた。
 - ・事務局より、印刷物の年間購入契約を年会費に含めることは 2025 年度に対応できないことの説明がなされた。高田会長より、将来的には年会費に印刷物提供をオプションで選べるようにするのが良いとの要望がなされた。
 - ・山中次期会長より、物理探査学会の会誌（印刷版）の購入率を確認することの要望がなされ、事務局で確認することになった。
- 8) 論文投稿料の値上げについて（本多理事）
- ・本多理事より、資料 7-31 に基づいて、論文事業収支を 4 年単位（JEES の特集号を含む）と単年度で±0 とするための論文投稿料と他学会との論文投稿料との比較結果について説明がなされ、投稿料 1 万円の値上げ（+33%）、超過ページは 2 千円の値上げ（+66%）とし、1 編（超過ページ 7 枚想定）当たり、5.1 万円→7.5 万円（+47%）となり、4 年単位で黒字化になることの報告がなされた。
 - ・本多理事より、退職前後で研究成果の集大成として論文投稿をされる方に対して年齢と会員期間に応じて（例えば、60 歳以上＋会員期間 10 年以上）割引価格を設定することの提案がなされた。これに対して山中次期会長より、65 歳以上で収入を得ている方はいるので、無職になった方や研究費が厳しい方などの個別の事情に応じた割引価格の設定の要望がなされた。
 - ・論文投稿料に関して、投稿料 1 万円の値上げ（+33%）、超過ページは 2 千円の値上げ（+66%）を基本として価格改定を進めることが了承された。
- 9) 今後の予定について（高橋理事）
- ・高橋理事より、資料 74-32 に基づいて、理事会議事録の承認を 3/21 正午まで、令和 6 年事業報告と令和 7 年度事業計画の修正事項については 3/21 までに行うことの説明がなされた。
 - ・高橋理事より、4 月以降に部会・委員会の引継ぎに関するメール配信を行うこと、5/21 の社員総会の役割分担を次回理事会で決定することの説明がなされた。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

次回予定：（第 75 回理事会）：4 月 11 日（月）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行

監事 室野 剛 隆